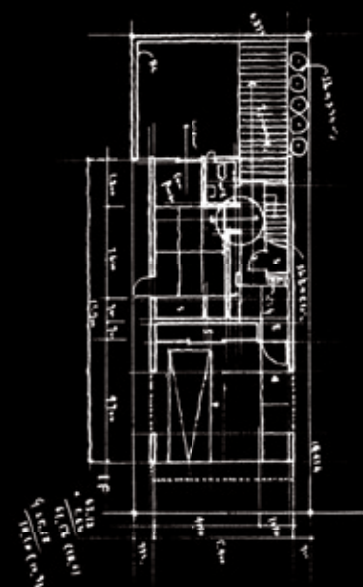
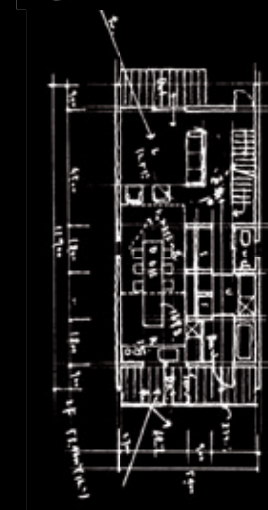




才気あふれる 若手建築家と創る家

※住宅雑誌「Replan」74号より抜粋。

Vol. 4

38坪の土地につくられた
6人家族の住まい

面積38坪の狭小敷地。東側は交通量の多い通りに面して、北と西側は隣家が接近。南側は今のところ空いてはいるが、将来は何か建つかわからない。建築家の飯岡哲司さんは、この敷地に對し、庭も含めてCさん6人家族が必要とするボリュームをいかにしてつくり出すかがプランの要だったという。

西側に塀をたてプライバシー性を高めた庭を確保して、建物は法規で定められた高さ10メートルぎりぎりまで使う3階建てになった。1階は東からアプローチする車庫と玄関、それと庭を望めるおばあちゃんの部屋。おばあちゃんが孤立しないよう、家族が必ず部屋の前を通って上階へアクセスする動線になっている。2階へ上がると、吹き抜けと西側の大きな開口が開放感を与えるLDK空間が広がる。吹き抜けの南面は隣地に何が建ってもいいよう開口部を磨りガラスに、最頂部には天窗を設置して外光をたっぷり取り入れている。北側に水まわりを集約し、交通量のある東側は水まわりから通り抜けるサービスバルコニーに。洗濯物を干すなどできるスペースで、ルーバーが通り側からの視線をカットしている。3階には吹き抜けを囲うようにSさん夫婦の寝室と、可動収納で自由に仕切れる3人の子ども用スペースが配された。吹き抜けを介して家族の気配が伝わり、空気の流れもスムーズだ。

与えられた条件の中で住まい手の意向をくみ取り豊かに具現化された、家族が伸びやかに暮らせる住宅である。